

令和7年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

1. 明るく健康で、自らを高め、他人を尊重する、人間性豊かな人格の完成をめざす。
2. 工業教育を通じて、規範意識を身につけさせ、勤労と責任を重んじ、幅広い技術をそなえた社会人を育成する。
3. 北摂唯一の府立の工科高校として、「ものづくり」の技術と技能、知識によって将来の地域社会を担うことができる人材を育成する。
4. 府立の工科高校における高大連携重点型校として、大学等と連携した工業教育で、技術と理論を兼ね備えたエンジニアを育成する。
5. 中学校や生徒、保護者から「丁寧でめんどろみのよい学校」と言われるなど、地域等から愛される学校をめざす。

2 中期的目標

1 「確かな学力」の育成

- (1) 「主体的・対話的で深い学びを実現する」授業づくりを推進しながら、基礎学力の確実な定着を図り、「分かりやすく楽しい」授業を創出する。
 - ア ICTを活用した授業の推進（1人1台端末の効果的な利用）
 - イ 少人数展開授業、習熟度別展開授業、および希望者への課外講習の実施
 - ウ 工業の基礎学力の定着
- (2) 問題解決能力を育成するPBL（キャリアガイダンス、総合的な探究の時間、課題研究）の授業を推進し、特色ある教育活動の充実を図る。
※ 生徒向け学校教育自己診断における「授業は分かりやすく楽しい」の肯定的な評価の目標を令和7年度は72%以上とし、令和9年度に75%以上とすることを目標とする。
(R4年度65.3%、R5年度71.3%、R6年度71.3%)

2 安全安心で魅力ある学校づくり

- (1) 生徒の規範意識を醸成し、規律ある学校生活を送らせるとともに、個々の生徒への支援体制を充実させる。
 - ア 挨拶、身だしなみ等、社会人として求められる礼儀を身に付けさせ、基本的生活習慣の確立と規範意識の醸成に努める。
 - イ 教育相談体制を充実させるとともに、支援教育を推進する組織の活性化を図り、学校生活への定着を図る。
 - ウ 人権教育の推進を図る。
 ※ 中退率2%未満をめざす。(R4年度1.8%、R5年度2.0%、R6年度1.3%)
- (2) 生徒の健康管理・安全衛生の意識を高めるとともに、事故のない安全な学校づくりに取り組む。
 - ア 生徒保健委員会を活用し、校内美化の取組みを推進する。
- (3) 行事（文化祭・体育祭・校外学習）や部活動（生徒会活動）やSDGsに取り組むことにより、生徒の自己有用感を協調性と社会性を醸成し、集団や学校への帰属意識を高める。
 - ア 文化祭・体育祭および校外学習の充実
 - イ 部活動、生徒会活動の活性化
 - ウ 生徒会主体の社会貢献活動
 ※ 年間遅刻総数について、令和7年度1000件以下に削減することを目標とし、令和9年度は900件以下とすることを目標とする。
(R4年度1202件、R5年度1133件、R6年度1349件)
※ 学校管理下での事故、特に「実習中の事故ゼロ」を継続する。
※ 部活動の加入率を令和7年度には45%以上とすることをめざす。令和9年度には50%以上をめざす。(R4年度48%、R5年度43%、R6年度31%)

3 自立・自己実現の支援（～工科高校の理念である「専門分野の深化」と「高等教育機関への接続」の推進～）

- (1) キャリア教育・職業体験教育の充実を努める。
 - ア 「インターンシップ」等の体験的学習を重要な教育活動として位置づけ取り組む。
- (2) 資格取得指導等を通じて、生徒に達成感、成就感を醸成し、進路実現への意欲を高める。
 - ア 資格取得や就職試験に向けた全校的な協力体制を推進する。
 - イ 生徒の希望する進路実現に向けた組織的・計画的な進路指導体制を確立する。
- (3) 理工学系大学等の高等教育機関への進学を希望する生徒の支援を強化し、ものづくりマインドを持った将来の高度技術者の育成をめざす。
※ 工学系大学進学専科における理工学系大学等への進学希望者の進学率100%をめざす。(R4年度100%、R5年度100%、R6年度100%)
※ 学校紹介による就職内定率100%を堅持する。
※ インターンシップ参加者数を令和7年度60人以上を維持し、令和9年度には70人以上を維持する。(R4年度16名、R5年度57名、R6年度72人)
※ 特色ある教育として、Society5.0に対応できるIoT技術者を育成する。

4 地域連携・地域貢献の取組みの推進

- (1) 地域の中学校教員との情報交換（中高連絡会）や学校訪問、出前授業等の充実を図るなど、中高連携を推進し、アドミッションポリシー（求める生徒像）が中学生、保護者等に明確に伝わるよう学校情報を積極的に発信する。
 - ア 生徒・保護者向けの学校説明会等に加え、中学校教員向けの施設見学会等を卒業生や在校生の協力も得て実施することにより、中学生、保護者、教員等の工科高校への理解（工科高校の「再発見」）を促し、志願者増加につなげる。
- (2) 学校設定科目「課題研究」における「ものづくり」技術を活用した地域貢献活動を通じて、生徒に自尊感情・自己有用感を醸成する。
 - ア 課題研究発表会を定着、発展させ、プレゼンテーション能力を育成するとともに、地域に積極的に公開し、工科高校の特色を広く伝える。
 ※ ものづくり教室などのワークショップ等の開催で本校の取組みを発信するとともに地域の方々と交流をおこなう。
※ 地域の小・中学校に対して、アルミ製朝礼台等を製作し、寄贈することを継続し、地域に工科高校の特色を周知する。

5 働き方改革の推進

- (1) ICTを活用して校務の効率化を図り、教職員の事務作業に係る時間を軽減することで生徒と向き合う時間を確保する。
- (2) ストレスチェックの内容を活かした、働きやすい職場環境づくりをする。
※年間時間外在校等時間720時間超えの教員をゼロにする。

【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [令和8年12月実施分]				学校運営協議会からの意見
【結果】(生徒用)	(R6)	(R7)	増減	第1回学校運営協議会（令和7年6月30日実施） ※令和6年度分も含めてご意見をいただいた。 (令和6年度第1回)
1 この学校に入学してよかった。	69.2%	77.4%	+8.2%	・R6学校経営計画の目標が見づらい。
2 学校へ行くのが楽しい。	76.9%	76.3%	-0.6%	・電子情報通信専科0名?→もう一方の電気技術専科の資格のPRの影響が考えられる。偏ったPRにならないよう工夫していく。 (令和6年度第2回)
3 自分の学級は楽しい。		80.9%		・欠席・遅刻連絡Googleフォームを導入したが、欠席遅刻が増えているのはなぜか?→遅刻の数との相関は分からないが、教員の業務量が格段に減った。 (令和6年度第3回)
4 授業では、実験・観察・実習をしたり、学校外へ見学に行く機会がある。		79.8%		「学校教育自己診断」
5 資格取得を先生に支援してもらすることができる。	80.2%	81.1%	+0.9%	・学年進行につれて、生徒の評価が上がっているのが良い。
6 この学校には、他の学校にない特色がある。		85.2%		・広報はされているが、ホームページを見るに至っていないのではないかと?そもそもホームページ自体を見ない時代では? →ホームページだけでなく、インスタグラムなどの工夫を考えている。もうすでにホームページ制作企業と連携している。
7 授業はわかりやすく楽しい。	71.3%	71.4%	+0.1%	
8 教え方に工夫をしている先生が多い。	79.6%	75.7%	-3.9%	
9 授業でわからないことについて、先生に質問しやすい。		78.2%		
10 授業などでコンピューターやプロジェクターを活用している。	86.2%	86.5%	+0.3%	
11 学校は1人1台端末を効果的に活用している。	72.8%	77.4%	+4.6%	
12 学校は進路についての情報をよく知らせてくれる。	84.4%	88.1%	+3.7%	
13 将来の進路や生き方について考える機会がある。		85.4%		
14 学校は、奨学金制度についての情報を知らせてくれる。		69.5%		
15 文化祭は、楽しく行えるよう工夫されている。	73.4%	76.0%	+2.6%	
16 体育祭は、楽しく行えるよう工夫されている。	73.4%	70.1%	-3.3%	

17	遠足や修学旅行は、楽しく行えるよう工夫されている。	84.1%	
18	部活動に積極的に取り組んでいる。	46.1%	
19	担任の先生以外にも、保健室や相談室等で気軽に相談することができる先生がいる。	69.2%	→ 66.0% -3.2%
20	先生は、日常生活や家庭生活について私たちが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。	70.1%	
21	先生は、他の人に知られたくない秘密を守ってくれる。	63.6%	
22	人権について学ぶ機会がある。	85.7%	
23	学校は生命を大切にす心や社会ルールを守る態度を養おうとしている。	75.5%	→ 81.1% +5.6%
24	学校では、生活規律や学習規律などの基本的習慣の確立に力を入れている。	80.6%	
25	先生はいじめについて私たちが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。	65.6%	→ 71.2% +5.6%
26	学校生活についての先生の指導には納得できる。	71.0%	→ 71.4% +0.4%
27	成績などの内容についてプライバシーが守られている。	80.3%	
28	学校で、事件・地震や火災などが起こった場合、どう行動したらよいか、知らされている。	86.5%	

【肯定率増減の分析】

1 (生徒用)

「肯定率が大きく上昇した項目」

- ・設問1「入学してよかった」はプラス8.2ポイント
- ・設問23「生命やルールを守る態度が身につけている」はプラス5.6ポイント
- ・設問25「いじめや困りごとに真剣に対応してくれる」もプラス5.6ポイント

→これらは、進路指導、生活指導、人権教育といった、学校として継続的に取り組んできた基盤的な部分が、生徒の実感として少しずつ積み上がってきている結果だと受け止めています。

「肯定率が低下した項目」

- ・設問8「教え方に工夫している先生が多い」はマイナス3.9ポイント
- ・設問19「担任以外にも相談できる先生がいる」はマイナス3.2ポイント

→授業改善や相談体制は、むしろ教員側のアンケートでは、評価が上がっている項目です。それにもかかわらず生徒側の評価が下がっているということは、工夫や体制そのものではなく、生徒にとって「良い」と実感・発見がしやすいかどうか？という点に課題がある可能性を示しています。

2 (保護者用)

「肯定率が大きく上昇した項目」

- ・設問17「学校は教育情報について提供の努力をしている」がプラス8.7ポイント
- ・設問18「学校のホームページなどの広報活動が充実している」がプラス13.9ポイント
- ・設問19「授業参観や行事に参加しやすい」がプラス9.2ポイント

→これらはいずれも、学校側が情報を出したか、機会を設けたかという内容なので、比較的分かりやすく評価される設問。今年度、広報委員会の業務を整理し、情報提供の量や頻度が増えたことは、保護者に一定程度伝わった。

「肯定率が最も大きく低下した項目」

- ・設問9「学校の生徒指導の方針に共感できる」で、マイナス12.3ポイント

これは、回答者は保護者ですので、生徒指導が厳しいや甘いではなく、保護者から見て、生徒の問題行動についての指導が公平だったのか？効果的だったのか？生徒の為になるのか？という疑問があるのかも知れない。説明不足、相談不足、連携不足で、理解・納得が得られていない可能性があるという結果。生徒の成長の為の生徒指導を、教育と保護者が協力して体制を強化したい。

3 (教員用)

「肯定率が大きく上昇した項目」

- ・設問7「教育相談体制が整っている」はプラス13.1ポイント
- ・設問8「カウンセリングマインドを取り入れた生徒指導」はプラス21.8ポイント
- ・設問22「評価を次年度の計画に活かしている」はプラス21.7ポイント

教員では、生徒理解を重視する姿勢、相談体制を組織として動かそうとする意識、計画を立てて終わるのではなく、振り返ろうとする意識が高まっているとがうかがえます。ただし、教員側の実感が高まっている項目と、生徒や保護者の評価が必ずしも一致していない。このズレは、学校が悪いというより、学校の中の変化が、まだ十分に、生徒・保護者に伝わっていない、あるいは、生徒や保護者の視点に合わせた、生徒・保護者が気付きやすい形になっていない可能性を示している。

【令和7年度学校経営計画の評価指標の分析】

①重点目標「1 確かな学力の育成」

生徒用設問11「1人1台端末を効果的に活用している」は、肯定率が上昇し、目標を達成
 生徒用設問7「授業はわかりやすく楽しい」は、横ばいとどまっています。
 ICTを使うこと自体は進んでいるが、それが学習の理解や納得感に十分結び付いているかは、
 分からない。まだ課題が残っている考えられる。

②重点目標「2 安全安心で魅力ある学校づくり」

生活規律、人権、相談体制、行事、部活動など、学校生活全体が関係します。
 生徒用設問24「生活規律や学習規律の確立」、生徒用設問22「人権について学ぶ機会がある」
 は、高い肯定率を示しています。
 生徒用設問19「担任以外にも相談できる」、部活動に関する設問では、課題が残っています。
 保護者用で、生徒指導方針への共感が低下している点は、この重点目標全体に関わる重要な
 課題として位置付けています。

③重点目標「3 自立・自己実現の支援」

生徒用設問12「学校は進路についての情報をよく知らせてくれる」の肯定率は上昇していますが、
 今後は、情報を出したかどうか、説明したかどうかのみならず、生徒が理解し、行動に移せて
 いるかという点を重視した支援に転換していく必要があると考えています。

「資格取得」

・計算技術検定3級の合格者増加やジュニアマイスターが機械系初のゴールド獲得等、実績上がっていて良い。

「生徒指導」

自転車の通学マナー、2台併走、スピード出し過ぎなど、通学路に高齢者も多く利用しているので、注意してほしい。
 →併走・スピード指導していく、ヘルメットは努力義務だた考え
 ていく。交通ルール指導していく。

「進路指導」

工学系3名が学校紹介就職というのは、どういうことか？
 →入学時、本人の意思ではなく、親の意向で入学した生徒もあり、
 最終的には、本人の意向で決まっている。

「電気系」

第2種電気工事士の合格率が低い要因は？→分からないが、探っ
 てみます。

(令和7年第1回)

「学校経営計画」

小学校の文化祭に、以前出展していたが？
 →以前は畑田小学校から依頼があり、美術作品を展示していた。
 春日小学校文化祭「ふれあい祭り」の展示もお願いしたい。

「入学者選抜」

大学進学専科5人と他工科高校に比べて一番少ないのでは？
 →学力は工科の中で2番目だが、魅力発信を努力していく。

「保健安全指導」

救急虎秀会の生徒13名はどうやって決めたのか？もう少し多い
 方が良いのでは？→運動部の顧問の推薦です。救急の人形の関係
 で増やせない。

第2回学校運営協議会(令和7年10月29日実施)

(1)教科書選定はどのように決定するのか？

→各教科内で話し合い決定。(教員1人で決めていない。)選定し
 た内容について代表者会議等を経て、使用教科書が決定する。

(2)生徒遅刻数が減少したと思われる理由(取り組み)は。

→1・2年生が取り組んでいる5分前登校(朝読書)、普段からの定
 期的な呼びかけ(声掛け・ほめる等)が考えられる。

(3)来年度から自転車に関する罰則が厳しくなるが、どのように
 指導しているのか。→外部講師を招いて自転車交通安全講習を開
 催し、生徒へ周知徹底している。

(4)大学進学専科なのに卒業後の進路に、専門学校・就職の生徒が
 いるのはどう？→生徒・家庭等それぞれの事情もあるので、それ
 ぞれの進路となっている。

(5)救急処置講習会の参加数が少ない。一度に全職員が参加でき
 ないのか？→AED・人形等の数が限られているので人数が絞られ
 る。教員は3年間で全員が受講できるように割り当てている。

(6)救急処置講習会について受講カードのようなモノはあるの
 か？→受講カードのようなモノは無い。

(7)工学系について(進学を踏まえたカリキュラムを見て)実習が
 少ない。工業高校は実習をしてレポートに取り組むことが大事で
 は？実習が少ないのでは工業高校の意味がないのでは？

→機械・電気・環境化学システムの3つの系に関する実習は行って
 おり、レポート指導もしている。課題研究も実習に近い(今まで学
 んだ実習を踏まえた)内容で生徒が取り組んでいる。

(8)機械系・電気系・環境化学システム系の出前授業は行っている
 が、工学系の出前授業は無いのか。

→中学校側から、中学生へモノ作りを体験させたいという内容の
 依頼であるので、工学系の特色、例えば大学連携等の授業は出前
 授業にそぐわない。

(9)いじめ対策委員会の取り組み等について教職員にどのように
 周知しているか。
 →職員会議において全職員に周知している。

第3回学校運営協議会(令和8年1月28日実施)

(1)「地域連携・地域貢献の取り組みの推進」に対し

・春日小学校文化祭への展示参加をしていただきたい。毎年11月
 第1日曜日です。
 ・自治会への回覧プリントは、絵が入ったり、カラー印刷のもの
 をお願いしたい。

(2)学校教育自己診断について

・肯定率が下がっていることが、否定的な意見が増えているとは
 一概には言えず、「わからない」の回答数が増えている場合もある。
 昨年度のデータと単純に比較すると、先生たちが一生懸命も
 取り組んでいることが報われないのではないかと？

・質問内容を精査、所謂どういった聞き方がいいのかを考えてい
 ってほしい。

(3)企業連携による実践的スキル育成事業の活用について

・もっと増やしたり、デュアルシステムを導入したりできない
 か？

→本校は「高大連携重点校」であり、予算等の制限もあり、難し
 い状況です。

(4)工学系について

・大学進学専科という名称は変えられないのか。大学進学より、
 他の名称の方が良いのではないかと？
 →府教育庁で決定しており変えられない。

・工学系通信でQRコードを用いて保護者・生徒の意見を聴取る
 仕組みは、いい仕組みだと思う。うまく活用して是非とも続
 けていただきたい。

(5)いじめ対策委員会活動報告

・いじめに対する講演会などは実施してるか？

→いじめ防止を啓発するホームルームを実施している。講演会
 については実施を検討する。

(6)インターンシップ実施報告

・受け入れ企業について、もっと生徒を受け入れられるのでは
 ないか？

→受け入れ人数を増やしても充足できない場合があるので、参加
 生徒数を見越した人数の受け入れをお願いしている。

・参加生徒人数を増やすために、インターンシップに参加した生
 徒全員分のインターンシップ報告会を実施するべきでは？

→インターンシップ報告は実施をしているが、全員分の報告会に
 ついても実施を検討する。

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標 [R6年度値]	自己評価
1. 「確かな学力」の育成	<p>(1) 「主体的・対話的で深い学びを実現する」授業づくり推進、基礎学力の確実な定着し「分かりやすく楽しい」授業を創出</p> <p>ア ICT を活用した取り組みの推進 (1人1台端末の効果的な利用)</p> <p>イ 少人数および習熟度別の展開授業の実施。</p> <p>ウ 工業の基礎学力の定着</p> <p>(2) 問題解決能力を育成するPBLの授業を推進、特色ある教育活動の充実を図る。</p>	<p>(1)</p> <p>ア ICT 活用の初任者・10年経験者等による公開授業を実施し、校内のICT活用授業を推進する。</p> <p>イ・工業科目の実習において少人数展開授業の実施し、専門的な技能・技術の確実な定着を図る。 ・1年数学で1クラス2展開の習熟度別授業を実施。 ・数学IIIで、習熟度別2展開の授業実施。 ・工学系の理科で、課外に希望者補習をする。</p> <p>ウ 「工業入門」において、機械、電気、環境科学システムの3系の専門技術を学ぶうえで必要な基礎学力の定着を図る。</p> <p>(2) 3年課題研究にて、発表ができる生徒を育成する。</p>	<p>(1)</p> <p>ア 生徒用学校教育自己診断「学校は1人1台端末を効果的に活用している。」肯定率75%以上。[72.7%]</p> <p>イ 生徒用学校教育自己診断「授業はわかりやすく楽しい」肯定率75%以上。[71.3%]</p> <p>ウ 計算技術検定4級合格率70%以上[65%]</p> <p>(2) 工科高校合同発表会にて、発表をする。</p>	<p>ア 肯定率77.4%【○】</p> <p>イ 肯定率71.4%【○】</p> <p>ウ 合格率81.7%【◎】</p> <p>(2) 1班(生徒5名)発表【○】</p>
2. 安全安心で魅力ある学校づくり	<p>(1) 生徒の規範意識を醸成し、規律ある学校生活を送らせるとともに、個々の生徒への支援体制を充実させる。</p> <p>ア・遅刻数削減、身だしなみ規律・授業規律確立、自転車交通安全の取り組み</p> <p>イ・教育相談体制を充実させ、中退率の減少を図る。</p> <p>ウ 人権教育を推進し学校全体の人権意識を向上させる。</p> <p>(2) 生徒の健康管理・安全衛生の意識を高める取組み ア 生徒保健委員会の活用</p> <p>(3) 行事や部活動(生徒会活動)やSDGsに取り組むことにより、自己有用感を醸成し、帰属意識を高める。 ア 文化祭、体育祭、校外学習の充実 イ 部活動、生徒会活動の活性化 ウ 生徒会主体の社会貢献の取り組み</p>	<p>(1)</p> <p>ア・毎回の遅刻理由をカウンセリングマインドで確認をし、きめ細かい遅刻指導を取り組み、遅刻しない生活態度を醸成する。</p> <p>・生徒の理解のもと、身だしなみ違反カード制と授業規律違反カード制を徹底し、一層、規律ある学校生活態度を醸成する。</p> <p>・自転車交通安全の為に法規、保険について、外部講師による講演を実施し、自転車交通安全の意識を醸成する。</p> <p>イ・教員同士が、迅速かつ継続的に生徒情報を共有できる教育相談体制を構築し、個に応じた支援・配慮を充実させながら、中退率の減少を図る。</p> <p>ウ・生徒に対して人権HRと人権映画を実施 ・教職員人権研修を推進し、教職員の人権意識を醸成</p> <p>(2)</p> <p>ア 行事後、考査前の一斉清掃を徹底し、校内美化を推進する。</p> <p>(3)</p> <p>ア・文化祭・体育祭、校外学習への工夫を充実させる イ・部活動および生徒会の活性化を図り、加入率の向上に努めるとともに、施設設備の充実に取り組む。 ウ・生徒会主体の、SDGsの取組み、校外清掃活動や募金活動、NGO団体・近隣中学と連携したエコキャップ運動等の社会貢献活動に取り組む。</p>	<p>(1)</p> <p>ア・遅刻総数1000件以下。[1349回]</p> <p>・生活指導アンケートで、違反カードの理解度「身だしなみ」85%以上。[93.2%]、「授業規律」85%以上。[92.0%]</p> <p>・生徒用学校教育自己診断「学校では、生活規律や学習規律などの基本的習慣の確立に力を入れている。」肯定率70%以上 [(調査なし)]</p> <p>・生活指導アンケートで「自転車危険運転で警察に注意された」10%以下。[4.4%]</p> <p>イ・生徒用学校教育自己診断の教育相談関連の肯定的回答65%以上。[61.4%]</p> <p>ウ・生徒用学校教育自己診断「人権について学ぶ機会がある。」肯定率80%以上 [(調査なし)] ・教職員用学校教育自己診断「同和問題を正しく理解し、差別や偏見のない主体的な生き方につながる教育の為、教職員の学ぶ場がある。」肯定率80%以上 [(調査なし)]</p> <p>(2)</p> <p>ア・保健安全指導部による清掃点検における○(良好)95%以上を維持する。[95%]</p> <p>・教職員用学校教育自己診断「この学校では、清掃がいきとどいている。」肯定率70% [(調査なし)]</p> <p>(3)</p> <p>ア・生徒用学校教育自己診断「文化祭・体育祭は楽しく行えるように工夫されている。」肯定率75%以上 [73.3%] ・「遠足や修学旅行は、楽しく行えるよう工夫されている。」肯定率70%以上 [(調査なし)] イ・部活動加入率45%以上[44%] ウ・校外清掃参加生徒数50人以上を維持[54名]</p>	<p>(1)ア・遅刻数 1年301 2年315 3年312 計928【◎】</p> <p>・「身だしなみ」98.7%【◎】、「授業規律」98.7%【◎】</p> <p>・肯定率80.6%【◎】</p> <p>・4% (9人)【◎】</p> <p>イ 肯定率68.1%【◎】</p> <p>ウ・肯定率85.7%【◎】 ・肯定率82.6%【○】</p> <p>(2)</p> <p>ア・93.8%【○】 (100%, 93.2%, 87.5%) ・肯定率69.6%【○】</p> <p>(3)</p> <p>ア・肯定率73.1%【○】 ・肯定率84.1%【◎】</p> <p>イ・46% (4月末) ウ・65名【◎】</p>
3. 自立・自己実現の支援	<p>(1) キャリア教育・職業体験教育の充実 ア・インターンシップへの取組み</p> <p>(2) 資格取得を通じた生徒の達成感・成就感の醸成、 ア 資格取得に向けた全教職員の協力的体制の推進</p> <p>イ 生徒の希望する進路実現に向けた組織的・計画的な進路指導體制の確立</p> <p>(3) 大学、専門学校への進学希望生徒に対する支援、適切な進路指導 ア 生徒保護者へ適切な進路情報の発信</p>	<p>(1)</p> <p>ア 地域産業との連携を深め、受入企業の安定確保に努めるとともに、インターンシップの利点や成果をPRし、参加生徒の推進を図る。</p> <p>(2)</p> <p>ア・生徒の資格取得支援の為、課外授業も活用する。</p> <p>イ・就職試験のための個々に応じた面接指導の取組みを充実させる。 ・教育産業の支援を受けながら、適性をより客観的に把握し、就職におけるミスマッチを防止する</p> <p>(3)</p> <p>ア 大学、専門学校進学希望者に対し、本人の学力や適正に応じた進路指導を行い、各個人に適切な受験先を決定に努める。</p>	<p>(1)</p> <p>ア・参加生徒2年生50%以上を維持[53%]</p> <p>(2)</p> <p>ア・「第二種電気工事士」電気系2年合格率65%以上 [61.8%] ・「危険物取扱者」合格者数10人以上[7人] ・「旋盤技能検定3級」合格者輩出[5人]</p> <p>イ・生徒用学校教育自己診断「学校は進路についての情報をよく知らせる」肯定率85%以上[84.8%] ・第1次就職試験合格率85%維持。[88.8%]</p> <p>(3)</p> <p>ア 進学生徒の第1希望(初回受験校)進学決定率90%以上。[97%]</p>	<p>(1)</p> <p>ア41名30%【△】</p> <p>(2)</p> <p>ア・「二種電工」62%(21人/34人)【○】 ・「危険物」18人【◎】 ・「旋盤3級」5人【○】</p> <p>イ・88.1%【○】 ・91%【◎】</p> <p>(3)</p> <p>ア96.9%(専門17/17、大学14/15)【◎】</p>

<p>4. 地域連携・地域貢献の取組みの推進</p>	<p>(1) 中高連携の推進 ア 中学校の生徒、保護者、教員の工科高校への理解（工科高校の「再発見」）を促す取組み</p> <p>(2) 「ものづくり」による地域貢献活動の取組み ア 課題研究による取組み</p> <p>(3) 地元自治会、行事への参加、連携 ア 部活動による地域連携</p> <p>イ 本校教育活動の地域への発信</p>	<p>(1) ア・学校の魅力を伝えるため、地域の小中学校に積極的に働きかけ、出前授業を積極的に行う。 ・校内開催の学校PR行事を実施しながら、魅力発信の改善を推進する。 ・ホームページを活用し、より多くの更新を行うことにより、学校情報を効果的に発信する。</p> <p>(2) ア・アルミ製朝礼台等の製作・寄贈継続と、新たな近隣教育施設へのものづくり支援や教育支援への拡充を図る。</p> <p>(3) ア・地元自治会行事において部活動を中心とした地域連携をおこなうことにより、学校教育活動の発信および生徒の自尊感情向上につなげる。</p> <p>イ・地域の方々との交流型イベントを開催し、本校教育活動の発信および相互交流をおこなう。</p>	<p>(1) ア・8校以上の出前授業実施。[8校] ・延べ参加者数700名維持。[712名] 参加者アンケートによる満足度90%以上を維持。[95%] ・ホームページ更新回数100回を維持し、有益な情報を発信する。[100回]</p> <p>(2) ア・地域の小中学校へのアルミの朝礼台寄贈（1台）[2台]</p> <p>(3) ア・地元行事への出席、地域の文化祭やイベントへの参画（年間3回以上）[2回]</p> <p>イ・ものづくり教室・ワークショップ3回開催。[2回]</p>	<p>(1) ア・10校 ・751名91%【○】</p> <p>・ホームページ101回 Instagram 34回【○】</p> <p>(2) ア・高槻市立桜台小学校へ寄贈1台【△】</p> <p>(3) ア・生徒会「茨木警察高校生サミット」参加、美術部・鉄道研究部「畑田小地区展示会」参加【○】</p> <p>イ・万博1回、茨木イオン1回、キッズプラザ大阪1回【○】</p>
<p>5. 働き方改革の推進</p>	<p>(1) 校務の効率化と部活動活動方針の遵守</p> <p>(2) 働きやすい職場環境づくり</p>	<p>(1) 働き方改革の観点から ICT 活用の推進により業務の精選・効率化を図るとともに、部活動活動方針の遵守を推進し、超過勤務の削減に努める。</p> <p>(2) 昨年度ストレスチェックの内容を生かし、校務の業務効率化、サポート体制を図り、ストレス軽減・健康増進に向け、働きやすい職場環境を実現する。</p>	<p>(1) ・年間時間外在校等時間720時間超えの教員をゼロにする。[2名]</p> <p>(2) ストレスチェック集団分析結果において、全国平均を100として A 仕事の量的負担・コントロール度・・・100以下を維持 [91] B 上司・同僚のサポート・・・100以下をめざす [110] C 総合健康リスク・・・100以下を維持 [100]</p>	<p>(1) ゼロ</p> <p>(2) A : 96 【○】 B : 96 【○】 C : 92 【◎】</p>